

D. データ活用		表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化		
表計算ソフト活用				
コースのねらい		表計算ソフトを活用する際、業務効率を向上させるために必要となる定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法を習得する。		
講義内容	「基本項目」	「主な内容」	総時間(H)	
	1	マクロの基本知識	(1)マクロ記録【演習あり】 ・マクロの概要とマクロやVBAを操作する上で必要な基礎知識を説明する。マクロの記録は(4)プログラミング作業の流れで実習する。 (2)VBAとは【演習あり】 ・VBAの概要とVBEとはなにかを説明する。 (3)プログラム開発環境【演習あり】 ・記録の準備として開発タブを準備する。 (4)プログラミング作業の流れ【演習あり】 ・作成手順を説明し、全体像をイメージできるようにする。マクロ有効ブックとして保存方法を説明する。	2.0
	2	基本文法	(1)プロシージャ、モジュール【演習あり】 ・VBEの基本操作として編集、表示、コピーを説明する。プロシージャとモジュールの概要、プロシージャの構成要素やプロシージャの作成方法を説明する。 (2)プロパティ、メソッド【演習あり】 ・プロパティとはなにか、メソッドとはなにか、コレクションとはなにかを説明する。 (3)オブジェクト【演習あり】 ・オブジェクトの関係を視覚的に理解できるよう階層構造で表現し、説明する。	4.0
	3	制御文法	(1)条件分岐処理【演習あり】 ・変数の使い方や条件分岐処理に加え、プログラミングする上で必要な制御構造を説明する(If~Then、Select~Case)。 (2)繰り返し処理【演習あり】 ・指定した回数分繰り返す処理(For~Next)や、処理を繰り返す(Do~Loop)を説明し、演習として販売管理プログラムを作成する。	6.0
	演習	・販売管理プログラムの構築		
			計 12.0	